

「 装飾技法の 1 つである象嵌技法について学び様々な象嵌技法による作品作りを実施する」

コース・専攻： 総合芸術コース・美術・工芸専攻 30 期

グループ名：WE ♡ ZOGAN

メンバー：前田龍夫・堀池尚美・森岡昌子・八嶋鈴子・辛環

趣旨・目的 入学後 2 年間に亘り、陶芸作品作成に取り組むも、まだまだ十分に慣れたとは言えない状況であるが、授業では習っていない装飾技法について学ぶことにより、作品のデザインの幅を広げたいとの思いにより、「装飾技法」をテーマとした。

装飾技法には、①粘土成形時に施すもの ②釉薬掛けによるもの ③絵付けによるもの があるが、取り組むテーマとしては①の「粘土成形時に施す装飾技法」に取り組むこととした。

また 粘土成形時に施す装飾技法についても、彫り（陰刻・陽刻）、象嵌、いっちゃん、練り込みなど様々な技法があるが、その中で、「象嵌技法」に集中して学び、その技法を使用した作品作りに取り組んだ。

象嵌技法とは 象嵌とは、象（かたち）を嵌（は）める技法であり、素地の表面に印花や印刻、針で彫るなどの方法でくぼみを作り、そのくぼみに素地と異なる色の化粧土を埋め込む。くぼみだけに埋められない場合は、全体に塗り、しばらく乾かしてから、平らに削ることにより、くぼみに埋め込んだ化粧土が模様となる。

象嵌オブジェ作成 象嵌技法にも、「線象嵌」「面象嵌」「印花文」「縄文」などの種類があり、それぞれの技法を使用

したオブジェを作成し、

右のような

「象嵌オブジェタワー」

を 4 本作成した。



春夏秋冬のイメージの作品作り 最終の展示に関しては、展示スペースを春夏秋冬の 4 つのゾーンに分け、その真ん中には、象嵌オブジェタワー 4 本を配置し、そのまわりに、春夏秋冬のイメージの作品を象嵌技法を使用して作成し、配置した。

春：桜のピンク、新緑のイメージの作品

夏：空や海の青色、鮮やかな色彩の作品

秋：落ち葉の茶・赤・黄色のイメージの作品

冬：雪の白・グレー、クリスマスのイメージの作品

